



出産祝金を送られた前田運くんと蘭珠ちゃん(総社)

総社東町内会では、10年ほど前から、子どもが生まれた世帯に、一律5千円を出産祝金として贈っています。これは、地域の子どもを大切にしたい、この地域に移り住んでくれる人に感謝したい、この地域ですと一緒で暮らしてほしいという思いで始めました。子どもが生まれた家族から町内会の役員に申し出をしてもらい、出産祝金を贈っています。始まった当時は、多くの申請がありました。近年は1〜2件に減っているのですが、重要です。子育て支援の取り組みが重要であると感じています。また、この地域では、総社東公会

総社東町内会

新生児「出産祝金」は感謝の気持ち



総社東町内会長 小林茂樹さん(総社)

堂で就園前の乳幼児と保護者を対象とした親子クラブ「神楽尾たんぼぼクラブ」が活動しています。クラブの運営にも町内会から補助金を出して支援しています。

そして、出産祝金のことや神楽尾たんぼぼクラブの活動情報などの子育てに関する内容を、毎月配布する町内会の会報に掲載し、町内会の皆さんにお知らせしています。

若い人たちが、この町内に移り住んで来て良かったと実感できるように、今後も地域をあげて、子どもを育てやすい環境づくりに取り組んでいきたいと思っています。



総社東町内会の会報

みんなで支える子育て

子どもたちを地域で育むために



現在、人口減少に歯止めをかけるため、子育て支援がとて重要とされています。就園前の子どもと保護者に対して、子育て支援を行う地区や町内会、各種団体などの取り組みを紹介します。

園秘書広報室(広報) ☎32・20209

親子ひろば「すくすく」

地域での未就園児支援の取り組み

「広報津山」平成28年10月号で、市内の各町内会で取り組んでいる子育て支援の情報を募集し、お寄せいただいた取り組みについて伺いました。

河辺支部

子どもは地域の宝 第3子以降に「出産祝金」

河辺支部では、地域をあげて子育てを応援したいという思いと、少子化対策のため、河辺支部内で第3子以降が生まれた世帯に出産祝金を贈る「出産祝基金」を発案し、創設しました。

この基金をもとに、河辺支部の8つの町内会で平成28年4月1日以降

おむつ代など、子育てにはたくさんのお金がかかるので、とても助かります。大切にに使わせてもらいます。



川上恵さん(国分寺)



津山市連合町内会 河辺支部長 坂本道治さん(日上)

に新生児(第3子以降)が生まれた世帯に、一律5万円を出産祝金として贈っています。河辺支部で独自に創設したこの基金を今後も継続して、地域全体で子育てを応援していきたいと思っています。申請方法など、詳しくは河辺公民館(☎26・6512)にお問い合わせください。

また、河辺支部では、ふれあいまつりを毎年開催しています。地域の子どもから高齢者までの皆さんが交流を深め、人がつながっていくことで、地域全体で子どもたちを見守り、子育て支援ができるよう、今後取り組みを進めます。



ふれあいまつり

城西地域

子育てサロン「さくらんぼ」は親子の居場所

城西まちづくり協議会では、平成26年に就園前の親子の居場所づくりとして、城西公民館内に子育てサロン「さくらんぼ」を開設しました。名称の「さくらんぼ」には、子どもと保護者がつながっている時間を大切にしたいという思いが込められています。ここでは、子育てをする人が孤立しないよう、人と人のつながりを大切に、家庭以外にも親子がゆっくりできる場をつくるよう心掛けています。

9人のスタッフが、紙芝居や手遊びなど子どもたちと一緒に遊べる時間があります。安心して子どもが遊べる場所なので、とても気に入っています。同年代の子育て中のお母さんと話ができるのも良いですね。



福岡木綿子さん(小田中)



子育てサロン「さくらんぼ」スタッフ 廣本美智子さん(安岡町)

間を設けています。また、季節にちなんだ催しも行っています。このサロンを開設した当初、催し情報などのチラシを作成してお知らせすると、次第に口コミで広がりました。市内外から「さくらんぼ」に行ってみようという問い合わせが増え、県外から帰郷した人なども来るようになりました。

サロンを始めてしばらくすると、利用する家族に次々と赤ちゃんが誕生しました。赤ちゃんが生まれる話題や、上の子どもと赤ちゃんを連れて来る家族が増え、子育てを応援してきて良かったなど実感しています。



子育てサロン「さくらんぼ」

とき 毎週火曜日午前10時〜正午
ところ 城西公民館(小田中)
対象 未就園児と保護者(未就学児も可)
園城西公民館 ☎31・0102